

令和4年 9月定例会

福井県議会だより

第38号

審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください



【秋桜咲くころに】 県立大学写真部 提供
撮影場所:宮ノ下コスモス広苑(福井市)

定例会の概要

9月定例会は9月5日に開会し、10月4日までの30日間にわたって審議を行いました。開会日には、知事から8月大雨災害対策やコロナ禍における物価高騰対策等の補正予算案等18件の議案が提案されるとともに、「令和4年8月大雨被害に関する支援等を求める意見書(案)」を可決しました。

今定例会では、8月の大雨災害による被災者への支援を早期に行うため、9月14日の本会議において、住宅再建に必要な経費に関する補正予算案を可決しました。また、道路、河川などの早期復旧、産業、農林水産業の再生支援、観光面での風評被害への対応などについて、活発な議論が交わされました。

北陸新幹線については、来年度当初の敦賀以西の着工に関して、年末の政府予算編成に向けた対応方針をただすとともに、福井・敦賀開業後のにぎわい創出拠点となるアリーナ整備構想の具体化に向けた経済界の検討状況や課題、県の支援の在り方について議論が行われました。

また、原子力政策については、岸田首相がGX実行会議において次世代革新炉の開発・建設に言及したことを受けて、立地地域の思いを国に伝えるとともに、原子力の将来像の明確化のためエネルギー基本計画の早期見直しを求めるべきといたしました。

そのほかにも、新型コロナの発生届の限定化による影響と課題、物価高騰による県内経済への影響と対応策、子育て支援策、敦賀港の機能強化、部活動の地域移行など県政全般にわたり広範な議論が行われました。

このような審議を経て、閉会日には、福井県人事委員会委員の選任同意など人事案件4件を含めた追加議案5件を含む知事提出議案20件を可決、承認または同意し、請願1件についても採決を行うとともに、「原子力の将来像の明確化を求める意見書(案)」を可決し、今定例会に付議された案件の審議を終了しました。

県議会のICT化を推進しています!

● 県議会ICTの本格運用開始!

新型コロナウイルス等、重大な感染症のまん延や大規模災害時の業務継続性の確保、業務効率化等の観点から、行政等各分野においてデジタル化が進められています。

このような中、福井県議会でもICT化を進めるため、令和2年7月、議会委改革検討会議内に、各会派の議員で構成されるワーキンググループを設置し、2年間にわたり検討や試験運用を重ねてきました。

これを踏まえ、本年の6月定例会において関係規程の整備を行うとともに、Wi-Fi設備やオンライン委員会用機器を整備し、ICT化に向けた環境を整えました。

また、全議員にタブレット端末を貸与し、8月29日には議員研修会を開催し、タブレット端末の使い方やペーパーレス会議システムを用いた会議資料の閲覧方法等について学びました。

その後、9月定例会から、タブレット端末を用い、ペーパーレス会議システム、メール・チャット等による議員と議会局・理事者の連携強化など、議会ICTの本格運用を開始しました。



9月定例会の様子



ワーキンググループの様子



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

代表質問

福井県議会だより 第38号 | 3

自民党福井県議会 鈴木 宏紀 議員



知事の政治姿勢について

- ・ 8月の大雨災害に対する対応の評価を伺うとともに、今回の災害対応の課題について、知事の所見を伺う。
- ・ 国の概算要求について、県の重要要望の内容が十分に反映されたのか、その評価を伺うとともに、反映が不十分な要望項目に関する今後の対応方針について、所見を伺う。

自民党福井県議会 島田 欽一 議員



新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ 医療機関からの軽症者等の発生届を不要とする国の緊急避難措置を活用するに至った経緯について伺うとともに、発生届の限定化を踏まえた今後の県内保健医療体制の方針について、知事の所見を伺う。

公安行政について

- ・ 高齢運転者による事故の現状と課題について伺うとともに、その対策について、警察本部長の所見を伺う。

民主・みらい 西畑 知佐代 議員



知事の政治姿勢について

- ・ 今定例会に提案されている9月補正予算における長期ビジョン推進に関する編成の考え方について、知事の所見を伺う。

福祉行政について

- ・ 第7次障がい者福祉計画の策定に当たり、障がい者の情報格差の解消に向けた取組みをどのように位置付ける方針か、所見を伺う。

一般質問

自民党福井県議会 笹原 修之 議員



- ・ 北陸新幹線福井開業の新時代に向けた取組
- ・ 災害に強い観光地づくり
- ・ 地域経済力を担う商工業の発展

新時代に向けた二次交通や災害に強い
インフラ整備、商工業への更なる支援を！

自民党福井県議会 長田 光広 議員



- ・ 災害に強い道路
- ・ 米の消費拡大
- ・ 少子化対策
- ・ DX

大雨被災の皆様にご見舞申し上げます。
防災や減災、安全保障にも努めます。

日本共産党福井県議会議員団 佐藤 正雄 議員



- ・ 大雨災害対応
- ・ コロナ対応
- ・ 杉本知事と民主主義の問題
(統一教会・安倍元総理国葬)

霊感商法などで被害をもたらしている統一
教会。行政・政治家は関係清算すべき。

自民党福井県議会 田中 宏典 議員



- ・ 部活動の地域移行
- ・ 教育振興基本計画
- ・ 県立大学の第3期中期計画
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策

部活動の地域移行は、学校教育の意義と
地域にあった取組を求める！

一般質問

民主・みらい 野田 哲生 議員



- ・ふく育県としての子育て環境の充実に向けて
- ・夢のある次世代農業
- ・福井駅周辺工事関係者へのおもてなし

県民が実感できるふく育県として、男性育児休業や保育の質の向上を目指すべき！

無所属 細川 かをり 議員



- ・交通安全インフラ
- ・水害対応

県議として、災害ボランティアとして、現場に携わっての経験を基に論じます。

自民党福井県議会 山浦 光一郎 議員



- ・教育
 - (1) 小中学生の経年調査
 - (2) 企業との共同研究
- ・大雨対策
- ・農業の副業規定

学力の経年調査が実施できるよう、引き続き取り組んでいきます！

自民党福井県議会 力野 豊 議員



- ・原子力政策
- ・大雨災害による交通遮断
- ・敦賀港・港湾機能拡充
- ・豊かな海づくり大会

水揚げされる魚介類はまさに日本一。新幹線開業を機に「全国豊かな海づくり大会」を！！

自民党福井県議会 松崎 雄城 議員



- ・北陸新幹線敦賀以西ルート
- ・大雨災害対応
- ・異常気象対策
- ・企業誘致

年末までが勝負の北陸新幹線敦賀以西ルート関連の運動を積極的に、とたしました。

民主・みらい 北川 博規 議員



- ・第7次福井県障がい者福祉計画の策定に向けて

取組が現状と乖離することのないよう、実効性のある計画を求めます。

自民党福井県議会 田中 三津彦 議員



- ・8月4～5日の大雨災害
- ・恐竜博物館休館中の誘客
- ・高齢者施設の介護人材不足

被害の復旧は、まだこれからです。全力で臨みます。

自民党福井県議会 小寺 惣吉 議員



- ・林業行政
- ・福井港の振興
- ・そばの振興
- ・物価高騰対策

福井県で開催の育樹祭とそばの振興と福井港の振興について伺いました。

自民党福井県議会 兼井 大 議員



- ・災害対応と防災減災
- ・少子化対策
- ・コロナ対策
- ・水道事業の広域化
- ・民生・児童委員の維持発展

子ども達の明るい未来について、幅広い分野を取り上げさせて頂きました。

公明党 西本 恵一 議員



- ・初診時・再診時選定療養費
- ・サニタリーボックス設置
- ・グリーンケア
- ・自動車教習所入校時期
- ・空き家古民家の活用

尿とりパッド着用者の外出支援として男性トイレにサニタリーボックス設置を！

**Facebookでも
情報発信しています！
ぜひご覧いただき、
いいね！やフォローを
お願いします！**



福井県議会

@fukukengikai - 公共・行政サービス

**福井県議会
Facebook**





審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

福井県議会だより 第38号 | 5

自民党福井県議会 山本 建 議員



- ・安全で安心なふく育県
- ・ハピラインふくい
- ・県有施設の光熱費増対策

子育てしやすい「ふく育県」が実感されるよう質問と提言を行いました。

自民党福井県議会 斉藤 新緑 議員



- ・不妊化対策
- ・環境基本計画

農業者支援（資材高騰化対策）、不妊化対策（食・ワクチン）、環境計画

自民党福井県議会 田中 敏幸 議員



- ・原子力政策
- ・新幹線開業に向けて

核燃料サイクル技術の根本的な転換、新幹線かがやきの越前たけふ駅停車

自民党福井県議会 宮本 俊 議員



- ・DX支援
- ・結城秀康・本多富正・紫式部
- ・土木予算
- ・福井県の子育て支援

結城秀康、本多富正、紫式部、メディアへの売込みを強化していきます。

自民党福井県議会 清水 智信 議員



- ・理系女子や理系人材の育成・確保
- ・奨学金支援制度を
- ・イノベーション人材の育成
- ・ホタルイカの存在感アップ
- ・不妊治療助成

企業人材育成支援や奨学金支援制度を提案。またホタルイカや不妊治療について。

自民党福井県議会 畑 孝幸 議員



- ・長期ビジョン
- ・コロナ後を見据えた経済対策
- ・安全・安心なまちづくり

準備不足で言葉足らずとなり、良い回答が引き出せず、反省しきりです。

自民党福井県議会 西本 正俊 議員



- ・福井県立大学かつみキャンパス
- ・小浜大飯高浜自動車道（わかさいくる）
- ・若狭ヘリポート
- ・地理的表示（GI）保護制度
- ・原子力政策

県大かつみキャンパスへの公共交通の充実に関して県の考えについてたどした。

民主・みらい 渡辺 大輔 議員



- ・県政全般

強度行動障がい児者への支援、学校教育DXなど県政全般について質疑！

自民党福井県議会 仲倉 典克 議員



- ・県政全般

大雨災害対応と、北陸新幹線およびまちづくりについて質疑しました。

代表質問、一般質問を行った議員は、この欄には掲載しておりませんが、予算決算特別委員会で、西本 恵一議員、北川 博規議員、力野 豊議員、田中 宏典議員、佐藤 正雄議員、島田 欽一議員も質問を行っています。

審議の様子は、議会ホームページからYouTubeでご覧になれます。

◆本会議・委員会の傍聴のお知らせ

本会議の傍聴は、当日の先着順です。議事堂2階の傍聴席入口前で傍聴券を受け取り、入場してください。傍聴席には、質疑等の内容を文字データでお知らせするモニターを配置しています（代表質問および一般質問）。

委員会の傍聴は、各委員会開催日の3日前（土・日・祝日を除く）の正午までに申込みをしてください。傍聴希望者が定員を超えたときは抽選となります。

詳細は、福井県議会のホームページをご覧ください。
HP: <https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/>

◆12月定例会 会期日程予定

11月29日(火) 開会	12月13日(火) 常任委員会(厚生)
12月 2日(金) 代表質問	12月14日(水) 常任委員会(産業)
12月 7日(水) 一般質問	12月15日(木) 常任委員会(土木警察)
12月 8日(木) 一般質問	12月20日(火) 予算決算特別委員会
12月12日(月) 常任委員会(総務教育)	12月23日(金) 閉会

総務教育常任委員会

「福井県職員等の定年等に関する条例等の一部改正について」などの4議案について審査を行い、原案どおり可決しました。また、請願の審査も行い、「地方財政の充実・強化に関する意見書採択を求める請願」について、不採択と決定しました。

所管事務の調査では、「県都グランドデザイン(案)」について、県の果たすべき役割等を確認しました。そのほか、「県立大学の業務実績評価」、「北陸新幹線かがやきの停車駅」、「部活動の地域移行」、「特別支援学校のスクールバス運営」等について議論しました。



「県都グランドデザイン(案) 将来像のイメージ」

厚生常任委員会

「福井県民生委員定数条例の一部改正について」の審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「原子力政策の早期の明確化」、「本年8月の大雨災害の振り返り」、「新型コロナウイルス感染症対策」、「介護現場の『ちょこっと就労』」について質疑を行いました。このほか、「海岸漂着物の処理」、「年縞博物館のPR」、「合併処理浄化槽の普及」等について議論しました。



「大雨に関する災害対策本部会議の様子」

産業常任委員会

所管事務の調査において、福井が舞台となる大河ドラマの誘致の実現に向けた取組の中で、福井独特のものを考えてほしいとの意見がありました。このほか、「水産養殖業の技術等開発」、「物価高や円安に伴う県内企業の状況」、「東尋坊再整備への県の支援体制」、「アリーナの整備・運営の基本構想と今後のスケジュール」、「UIターン促進」、「県内の雇用情勢」、「福井の農林水産業の将来」等について議論しました。



「水産学術産業拠点の研究施設」

土木警察常任委員会

「道路改良工事請負契約の変更について（道路改良工事（仮称）新板垣トンネル 池田工区）」、「道路改良工事請負契約の変更について（道路改良工事（仮称）新板垣トンネル 越前工区）」、「大蓮寺川放水路整備工事請負契約の締結について」の3議案について審査を行い、原案どおり可決しました。

所管事務の調査では、「交通安全対策」について調査を行うとともに、「要人警護」、「福井縦貫線の拡幅箇所における交通事故の発生状況」、「所持禁止となったクロスボウの回収状況と許可数」、「鹿蒜川の災害」、「盛土規制」、「福井港の洋上風力発電基地港湾指定」、「福井縦貫線の道路拡幅」等について議論しました。



「静岡県熱海市の盛土等による土石流災害の現場視察の様子」



審議の様子は
YouTubeを
ご覧ください

予算決算特別委員会

福井県議会だより 第38号 | 7

本委員会に付託された令和4年度福井県一般会計補正予算などの7議案について審査を行った結果、原案のとおり可決または承認しました。審査の過程であった主な質問や意見は次のとおりです。

○8月の大雨被害への対応について

大雨により被災した河川改修のスケジュールをただすとともに、河川の改良復旧事業にB/C（費用便益化）を取り入れる事業採択の在り方を見直すよう国に求めるべきではないかとただしたのに対し、「全国的な課題であり、見直しには時間がかかる。今回の災害対応としては、狭隘部を広げるなどの改良工事を一般の災害復旧事業の対象とするなど、少しでも効果を早く、安くあげていくことを考えながら進めていきたい」との見解が示されました。

また、観光業の風評被害への対応をただしたのに対し、「ホームページやSNSを活用して、交通の復旧状況や予約できる宿泊先を発信することで風評被害の抑制を図ったところ、お盆には家族連れの直前予約が入るなど、持ち直しが見られた。10月11日から始まる全国旅行支援では、全国でみても非常に手厚い福井県単独の上乗せ支援により、大雨被害のマイナスをプラスに変えるように努めたい」との答弁がありました。

○新型コロナウイルス感染症対策について

9月14日からの発生届の限定化による影響と課題についてただしたのに対し、「医療機関や保健所の事務負担軽減や重症化リスクの高い人の治療や健康観察の集中を目的とし、全国に先行して実施しており、発生届数は患者全体の25%程度まで減少している」との状況が示されました。また、65歳以上の高齢者が医療機関を受診せず自己検査で陽性登録する事例のあることが紹介され、「保健所から本人に連絡の上、医療機関の受診を勧めている」との対応策が示されました。

また、具体的に保健所等の業務の軽減状況をただしたのに対し、「県の保健所においては、他部局等からの応援職員を約2割減らすほか、一人あたりの超過勤務も約2割減少するなど、保健所の業務軽減につながっている」との答弁がありました。

○北陸新幹線について

福井・敦賀開業が、福井県の発展にどのように寄与するかただしたのに対し、「金沢開業時には、鉄道利用者が約3倍となった。福井・敦賀開業においても、駅周辺への民間の投資が進み、人と物の流れが生まれることを期待しており、日本政策投資銀行は、年間309億円の経済効果を試算している」との答弁がありました。また、福井・敦賀開業に向けた試運転のスケジュールについては、「来年の秋以降に実施される」との見通しが示されました。

また、敦賀以西の着工に向けて、入口である環境アセスメントの手続きが遅れていることを受けて12月に示される令和5年度当初の政府予算に事業が盛り込まれるためには、着工5条件がそろそろ前の着工も議論すべきとただしたのに対し、「敦賀以西の認可・着工は、着工5条件の確認が制度上、必要と認識している。引き続き、政府・与党に対し、着工5条件の確認に向けた議論の加速化を求めていきたい」との見解が示されました。

更に、令和5年着工を勝ち取るために、福井県側から具体的に提案していかなければならない時期にきており、敦賀・小浜間の工区設定や小浜駅部の部分認可による先行着工を国に提言すべきとただしたのに対し、「工区を分けて先行着工することも一つの手段ではあるが、制度的な課題があり、環境アセスメントのやり直しなども必要になる。また、一部地域だけを先行させた時の他の地域の受け止め方を考慮すると、ベストな選択は何かを考える必要がある」との見解が示されました。

○アリーナ整備構想について

アリーナ整備の具体化に向けて、経済界での検討状況や課題についてただしたのに対し、「整備・運営スキームなどの基本構想とともに、経済界自らが主導して進めて行くとの意気込みを示されたことは大きな一歩であり、歓迎している。まずは設置会社・運営会社を早期に設立する必要があり、規模や運営の姿を明らかにしていくことが今後の課題

である」との見解が示されました。

また、まちづくり福井（株）の役割についてただしたのに対し、「ランドデザインの各プロジェクトを担う中心的な役割とともに、アリーナ運営会社との連携によってアリーナを核とした街なかの賑わいづくりを推進する役割を期待している」との見解が示されました。

○原子力政策について

岸田総理が8月に開催された第2回GX実行会議において、原子力発電所の再稼働への関係者の総力結集や次世代革新炉の開発・建設などについて言及し、年末に向けて検討を加速する考えを示したことに対する知事の受け止めをただしたのに対し、「岸田総理が原子力の課題について政治的な決断をしていく考えを示されたことは、一歩前進だと考えている」との見解が示されました。

また、今回のGX実行会議までに、国に対して、立地県の知事としての考えや市町首長や経済界の思いを伝えるべきとただしたのに対し、「総合資源エネルギー調査会の基本政策分科会や原子力小委員会において、国に対して原子力の必要な規模とそこにいたる道筋を明確にするように再三求めている。これからも審議会の中でも、積極的に提言していく、更にはタイミングを失しないように国に対しての要請活動をこれからも行っていきたい」との答弁がありました。

次に、国が60年を超える運転や停止した期間を運転期間に含まないことを検討していることについての県の認識をただしたのに対し、「古くならば安全性が損なわれる可能性も高まるというのが一般的な認識であり、運転期間の延長とはどのようなことを意味しているのか明らかにした上で、原子力の安全に責任を有している国において、科学的・技術的な根拠をもとに、規制当局も含めて、十分に議論すべきであると考えている」との見解が示されました。

○子育て支援政策について

「ふく育県」としての知事の意気込みや具体的な施策についてただしたのに対し、「今後は発熱時等に子どもの移動をお願いできるふく育タクシーや、ベビーシッターなどを制度的に成り立つようにしていく必要があると考えている。また、大人に対する支援に加えて、ヤングケアラーなどの子どもへの支援も行いたい」との見解が示されました。

更に、不妊治療費助成等事業の拡充の必要性和その効果についてただしたのに対し、「経済的な理由から不妊治療を諦めてしまう人が多数存在する中、9月補正予算案において、不妊治療の自己負担額が基本的に6万円を超えないよう助成を拡充したい。この結果、県内の妊娠件数は約80件増加するものと見込んでいる」との見解が示されました。

このほか、EBPM（証拠に基づく政策立案）に対する県の取組、福井県環境基本計画の改定内容、福井県障がい者福祉計画の改定内容、コロナ後を見据えた経済対策、企業向けのDX支援、水産業への支援など広範多岐にわたり、理事者の見解と対応をいただきました。



「復旧工事後の状況（南越前町）」

特集「ふくい高校生県議会」を開催しました

県政や県議会に対する理解を深めてもらうことを目的に、福井県議会、福井県、福井県教育委員会が共催し、8月4日（木）に、「ふくい高校生県議会」を開催しました。

応募があった10校から、抽選で決定した5校19名の高校生が、模擬委員会の委員として県の担当部局と質疑を行うなど、県議会での議論を体験しました。

開催に向けて

6～7月にかけて、担当する議員が各学校を訪問し、高校生と意見交換を行いました。

議員は、各学校が選んだ県政テーマについて、高校生が日ごろ感じている疑問や課題に対して、本県の現状や取組を示しながら、質問や提言のまとめ方についてアドバイスを行いました。各学校では、このような議員からのアドバイスを参考に、本番直前まで、提言書案作成などの準備に取り組みました。



(敦賀気比高校)



(三国高校)

チーム担当議員の高校訪問

開催当日

【模擬委員会】

高校生が委員となり、自分たちが課題と考える県政テーマについて、担当部局と質疑を行う模擬委員会を開催しました。

参加校	チーム	意見交換テーマ
敦賀気比高校	Red cross	新幹線駅周辺のまちづくりについて
三国高校	ほうじ茶	出会いと結婚応援について
高志高校	ひまわり	移住・定住の促進について
大野高校	TOUFU	魅力ある県立学校づくりの推進について
福井商業高校	ぎゅっタン	魅力的な大学づくりについて



(福井商業高校)

模擬委員会の様子



(高志高校)



提言書を提出

高校生ならではの柔軟な発想による意見や提案が相次ぎ、担当部局からは、今後の施策の参考にしたいたいなど前向きな答弁がありました。最後に、質疑の内容を踏まえて提言書を作成し、担当部局へ提出しました。

【議場での提言書発表】

委員会終了後、全参加者が議場に参集し、大森議長進行のもと、学校ごとに演壇に登壇して、本会議さながらに提言書を発表しました。



(大野高校)

提言書を発表

開催後の効果

今回の模擬委員会の質疑等を通じ、高校生にとっては、県議会に対する理解を深めるとともに、政治や社会の課題を自分事としてとらえる良い機会となりました。また、今回の成果については、校内で活動報告会を行うなど、学校全体で共有することとしており、参加した高校生だけでなく、より多くの高校生の県政や県議会への関心の高まりが期待されます。

また、9月定例会では、議員が代表質問や一般質問等で、高校生の意見を取り上げるなど、県議会での質疑にも活かされました。

「福井県議会だより」へのご感想をお聞かせください。

福井県議会ホームページの「福井県議会だよりアンケート」のページから、ご感想、ご意見を願います。



発行 福井県議会広報会議

〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県議会 議会局総務課

電話：0776-20-0605 FAX：0776-20-0674

HP：https://www.pref.fukui.lg.jp/gikai/

Facebook：https://www.facebook.com/fukuikengikai